



ほうしゅそんゆうずうおんまもり

寶珠尊融通御守について

寶珠尊融通御守は弘法大師が貧苦の衆生を救うために、中国よりお伝えになった秘法です。その発祥はインドにまでさかのぼります。寶珠尊融通御守は、靈驗あらたかにして金銀財宝を融通し、出世開運、心身ともに豊かな人生が送れるようにお守りくださる、不思議な御利益があります。各種の御守護(おまもり)は、寒中に七日間二十一座、一つ一つを弘法大師直伝の秘法により加持祈祷(おいのり)してあります。

瓢箪守護(ひょうたんまもり)は、神棚・仏壇・床の間その他きれいな所に御厨子(おずし)に入れておまつりして、傷つけないように注意してください。お供えは、初水、花、線香、洗米、燈明、大根、酒、菓子、赤飯、餅、果物、塩などを上げてください。縁日は一日と十六日です。

日々は、瓢箪守護の代わりに肌守護(はだまもり)を身につけてください。商売の取引や交渉事、受験、面接、縁談などには御扇子守護(おせんすまもり)を懐にお持ちください。御扇子守護は決して開いてはいけません。福種銭(ふくたねせん)は商売などの資金に加えて使ってください。御守護(おまもり)は、一年間の御祈祷ですので、次の節分には御受け替えしてください。



寶珠尊融通御守(ゆうずーさん)の拝み方

一、三礼

いっしんきみようちようらいだいしようかんぎによいほうじゅそん

一心帰命頂礼大聖歡喜如意寶珠尊

三返

二、法施

般若心経・観音経・光明真言・大師宝号など随意。

三、大日真言

おんあびらうんきやん ばざらだとばん

七返

四、十一面觀音真言

おんまかきやろにきや そわか

二十一返または百返

五、如意寶珠尊真言

おんあらたんのう まに ばざら たらく

七返

心呪

おんきりくぎやくうん そわか

二十一返または百返または千返

六、拝み方のコツ

最後に、生きている人間に話しかけるように正直に本心を打ち明けて下さい。融通さんは、すべて御存じですので「お願いします」より、生活を振り返ってみて報告や感謝をするように話しかけてみてください。その時心に浮かんだ事が融通さんからのお答えです。慣れれば楽しくなりますよ。

ひょうたんであら 融通尊寺

〒六五一〇〇九三 神戸市中央区二宮町四丁目八の十四 電話〇七八―二二二―五二三六 FAX〇七八―二二二―九二五六

メールアドレス: yuzusonji@gmail.com ホームページ: www.yuzusonji.or.jp

お守りの使い方

福種銭（ふくたねせん）は、出発や開業、スタート、受験、入社、入学、入院、手術、お見合い、コンパ、面接、面談、商談など、あらゆる人生の場面において、もとの、開業資金、銀行預金、ゆうちょ貯金、交通費などに加えて使ってください。包みの中には十円玉が入っています。これを使うと万倍の万倍つまり、十億円、さらに万倍だとすると十兆円という、途方もないお金が返ってくる事になるのです。つまりはお金を超えた、お金では買えない究極の富、健康と幸せに恵まれます。

たとえば、福種銭の十円を加えて自販機で水を買っていただくと力水になります。この水には十兆円分の値打ちが入っているのです。飲んでください。効果抜群です。福種銭の包み紙はお守りとして、使えます。融通尊寺の、お守りの中で最も人気があり、求めやすいお守りです。

肌守りは小さな赤いお守りで、金欄で瓢箪が刺繍してあります。このお守り肌身離さず持ち歩いたり、身につけて使ってください。財布の中に入れてられる方が多いです。このお守りは金色に輝く瓢箪の形が沢山の福を引き寄せ（七福即生）、災いを消します（七難即滅）。携帯用の瓢箪守護（ひょうたんまもり）とお考えください。瓢箪守護を買われた方には、携帯用に肌守りを一つお付けしています。

扇子守護（せんすまもり）は、受験、入院、手術、お見合い、コンパ、面接、面談、商談など、人と人との競争、交渉、関わり合いにおいて絶大な力を發揮してくれます。普段は仏壇や神棚などに安置しておいて、大事な時に懐刀（ふところがたな）のように、相手に見えないポケットやバッグの中に隠し持って行くのです。必ず、円満に有利に事が運びます。入院や手術の時には、サララップに包んで持って行かれて、枕の下に敷いてください。

事がおわって帰宅したら、また戻しておけば、何回も役に立ってくれます。扇子守護は一つあれば、他の家族の方も使えます。

瓢箪守護（ひょうたんまもり）は、太陽と大地の恵みを一杯受けて育った天然の果実です。形は寶珠を二つ重ねたとても縁起の良いもので、じつと見る、ポーツと見る、おりに触れて形を思い出す、様々なお祈りの仕方があります。勿論、表面お経や御真言をお唱えしながらです。

瓢箪守護にはすべての、お守りの功德が込められており、お家に安置していただく事で、大黒柱の役目を果たしてくれます。

くだいようですが、お参り、お祈りのコツは、要求は口にせず（言わなくてもユウズウさんは見抜き見通しでご存じです）、ひたすら、お礼だけを言い続けることです。「ありがとうございます」と、お礼を言い続ける事、感謝の言葉を使い続ける事によって、感謝したく成るような現実を引き寄せる結果となるのです。最後までお読みいただき、本当にありがとうございます。

不思議なご幸運をお祈り申し上げます。